

週間市場レポート (2021年7月12日~7月16日)

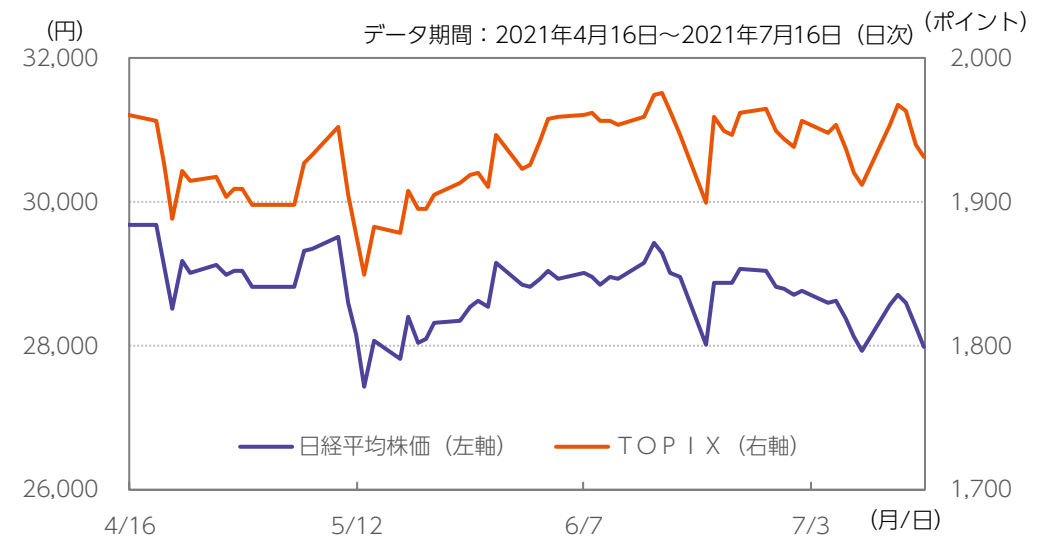
1) 先週の市場動向

指数名	国	前週末 2021/7/9	先週末 2021/7/16	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		27,940.42	28,003.08	0.22 ↗
TOPIX (東証株価指数)		1,912.38	1,932.19	1.04 ↗
ダウ工業株30種平均 (ドル)		34,870.16	34,687.85	▲0.52 ↘
S & P500種指数		4,369.55	4,327.16	▲0.97 ↘
ナスダック総合指数		14,701.92	14,427.24	▲1.87 ↘
ユーロ・ストックス50指数		4,068.09	4,035.77	▲0.79 ↘
S & P/ASX300指数		7,265.96	7,341.99	1.05 ↗
上海総合指数		3,524.09	3,539.30	0.43 ↗
MSCI AC アジア (除く日本)*		1,038.03	1,056.38	1.77 ↗
東証REIT指数		2,174.61	2,177.76	0.14 ↗
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		881.97	886.65	0.53 ↗
ASX300 REIT 指数		1,547.50	1,542.80	▲0.30 ↘
グローバルREIT (除く日本)*		207.40	208.13	0.35 ↗
日本10年国債 (%)		0.033	0.025	▲0.008 ↘
米国10年国債 (%)		1.360	1.290	▲0.069 ↘
ドイツ10年国債 (%)		▲0.293	▲0.353	▲0.060 ↘
英国10年国債 (%)		0.655	0.626	▲0.029 ↘
ドル/円		110.14	110.07	▲0.06 ↘
ユーロ/円		130.80	129.95	▲0.65 ↘
英ポンド/円		153.07	151.55	▲0.99 ↘
豪ドル/円		82.50	81.44	▲1.28 ↘
フィラデルフィア半導体指数		3,278.39	3,145.45	▲4.06 ↘
WTI原油先物 (ドル)		74.56	71.81	▲3.69 ↘
CRB指数		211.80	212.58	0.37 ↗

2) 日本の株式・債券市場

≪ 株式 ≫

日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で横ばいとなりました。米国株式市場において主要株価指数がそろって堅調に推移した流れを受け、国内株式市場も主力銘柄を中心に買われ上昇しました。一方、東京都内の新型コロナウイルスの新規感染者数が、5月の第4波のピークを連日上回るなど、国内における感染拡大への警戒感などから、週末にかけては売りが優勢となりました。なお、15~16日の日程で開催された日銀金融政策決定会合において、現行の政策が維持されたことや景気見通しに修正がなかったことなどから、市場の反応は限定的でした。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
 ※現地通貨ベース * ▲はマイナスを表します。

＜ 債券 ＞

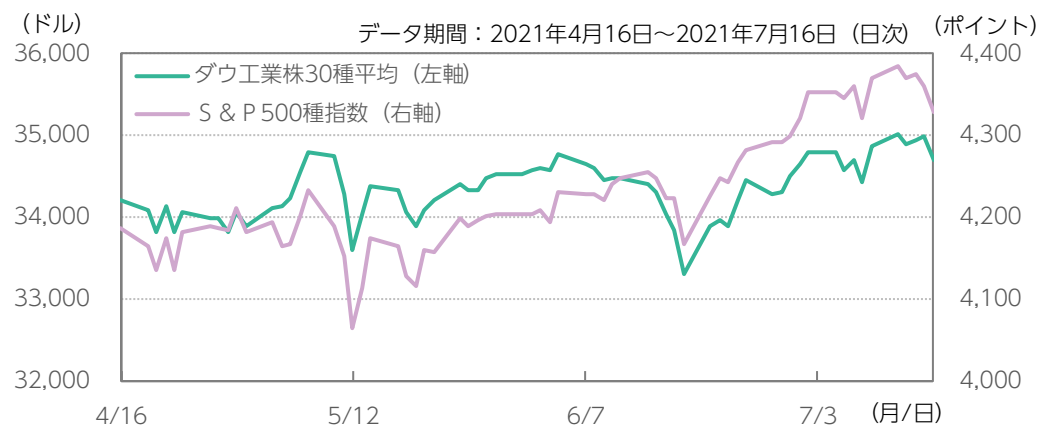
日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で横ばいとなりました。12日（月）より東京都に4度目の緊急事態宣言が発令され、景気の先行き不透明感が意識されたことなどから、相対的に安全資産とされる債券は、買いが優勢となりました（利回りは低下）。一方、利回りが節目となるゼロ%に近づく、投資家の需要後退から売りが優勢となりました（利回りは上昇）。



3) 米国の株式市場

＜ 株式 ＞

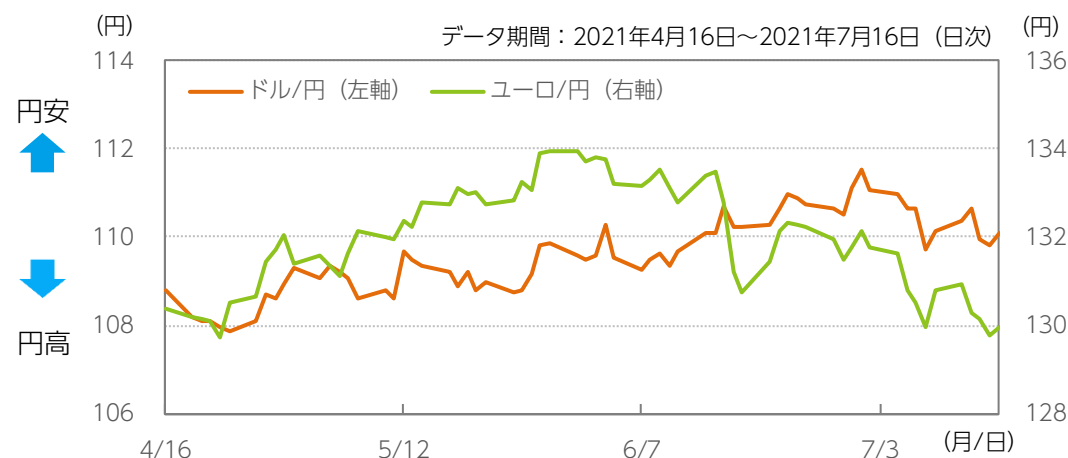
米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で小幅に下落となりました。好決算が期待される金融株やIT（情報技術）関連株を中心に買いが優勢となり、12日（月）には史上最高値を更新しました。その後、高値警戒感から一部の銘柄では利益確定の売りも見られたことや、原油価格の下落を背景にエネルギーセクターを中心に売られ、週間では小幅な下落となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で横ばいとなりました。日米株式市場の上昇を受け、投資家のリスク選好姿勢の強まりから安全通貨とされる円は売られたものの、週末にかけて、パウエル米連邦準備制度理事会議長の議会証言を受け、金融緩和が長期化するとの観測から日米の金利差縮小を見込んだ円買い米ドル売りが優勢となり、週間では横ばいとなりました。



5) 今週の見通しについて

先週の国内株式市場は、米国株式市場が上昇した流れを受け上昇したものの、国内での新型コロナウイルス感染拡大への懸念などから、週末にかけて下落となりました。

国内では、東京都内の新規感染者数が連日で1,000人を上回るなど、感染拡大が続く中、東京五輪・パラリンピックの開幕を23日（金）に控えています。東京都には4度目となる緊急事態宣言が発令されており、経済活動の正常化が一段と遅れるとの懸念が強まっています。

今週も、日米企業の決算発表が続きます。米金融当局による金融緩和の長期化観測を受け投資家心理が改善するなか、米主力企業の好決算への期待などから買いが進みそうです。一方で、変異ウイルスにより世界的に感染が再拡大し、経済活動が停滞するとの懸念が日米株式の上値を抑えることとなりそうです。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506

9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>